

5月定例会 会議録

招 集 年 月 日	令和4年5月27日（金）	
招 集 場 所	エコールみよた 大会議室	
開 閉 会 時 の 日 時	開 会	令和4年5月27日（金）午後1時30分
	閉 会	令和4年5月27日（金）午後2時50分

出欠席者の職氏名

職 名	氏 名	
教 育 長	茂木 伸一	
教 育 長 職 務 代 理	山口 智之	
教 育 委 員	市川 美香	
教 育 委 員	中山 梨恵子	
教 育 委 員	市川 和明	

説明のため出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 次 長	木内 一徳	学 校 給 食 係 長	手塚 弥生
指 導 主 事	砥石 順一	公 民 館 長 兼 図 書 館 長	清水 成信
次長補佐兼社会体育係長	古越 光弘		
次長補佐兼図書館係長兼博物館係長兼博物館長	茂木 仁		
学 校 教 育 係 長	萩原 拓哉		
生 涯 学 習 係 長	小山 ゆう子		

職務のため出席した委員会職員職氏名

書 記	清水 陸人	
-----	-------	--

議 事 日 程	別 紙	会 議 事 件	別 紙
教 育 長 等 の 報 告	別 紙	会 議 の 経 過	別 紙

傍聴人

0人

令和4年5月定例教育委員会 会議録

茂木教育長	教育長挨拶。
茂木教育長	では、3. 前回の会議録の報告と署名についてお願い致します。
萩原学校教育係長	前回は会議録3ページにおける市川美香委員の発言の中の「今年度は移行期として紺色の物を着用しても良いのでしょうか」を「よろしいのでしょうか」に訂正いたしました。また、6ページにおける市川美香委員の発言が中山委員となっておりますので訂正いたしました。
委員全員	(会議録署名)
茂木教育長	続いて、4. 教育長等の報告についてお願い致します。
木内教育次長	資料に沿って、先月の教育委員会で行った行事について説明。
茂木次長補佐兼図書館係長兼博物館係長兼博物館長	図書館ですが、5月14日にフレンズの総会を予定していましたが、4月25日の広報で再度募集をかけていることから、総会を6月に変更しましたので、削除をお願いします。 5月26日のフレンズの視察研修ですが、総会等終わっていませんので日程を変更しましたので、削除をお願いします。
古越次長補佐兼社会体育係長	5月10日の町スポーツ協会総会ですが、こちらは書面決議にて行っております。
茂木教育長	追加で15日に教育委員会主催で、南小・北小の通学路点検を各学校のPTAの方たちと、学校周辺で約5kmほど歩いて実際に確認しました。町長もぜひ参加したいということで一緒に参加し、その様子が6月号広報の町長のコラムに載っておりますのでご覧ください。
茂木教育長	資料に沿って報告。
次長・各係長	各係の事業報告について、萩原学校教育係長、小山生涯学習係長、茂木次長補佐兼図書館係長兼博物館係長兼博物館長、古越次長補佐兼社会体育係長、手塚学校給食係長より、資料に沿って説明。
茂木教育長	質問等ございますか。
委員全員	なし。
砥石指導主事	今月の学校訪問時の学校の様子について報告。
茂木教育長	ご意見、ご質問のある方はお願い致します。
委員全員	なし。
茂木教育長	続いて、議事に移ります。＜議案第15号 令和4年度御代田町一般会計補正予算（第2号）案＞について、各係長より説明をお願いします。
各係長	＜議案第15号 令和4年度御代田町一般会計補正予算（第2号）

	案>について、古越次長補佐兼社会体育係長、茂木次長補佐兼図書館係長兼博物館係長兼博物館長、萩原学校教育係長、小山生涯学習係長、手塚学校給食係長より、資料に沿って説明。
茂木教育長	<議案第 15 号 令和 4 年度御代田町一般会計補正予算（第 2 号）案>について 6 月の議会にて説明し、議決いただくということ承認してもよろしいでしょうか。
委員全員	（承認）
茂木教育長	ありがとうございます。 続いて、<議案第 16 号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整>について、事務局より説明をお願いします。
萩原学校教育係長	<議案第 16 号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整>について資料に沿って説明。
茂木教育長	毎年県教育委員会と市町村教育委員会との間で取り交わされている連絡調整の中身となります。具体的には 33 頁の「了解事項」となります。（1）の「校長の任免」と（3）の「教頭の任免」については、県教育委員会と市町村教育委員会とが十分連絡の上、内申案を得て速やかに事務処理を行います。 （4）の「教職員の任免」については、「校長の意見を尊重する。」ということです。長野県の大きな特色の一つで、他県だと、県教育委員会が主導でほとんど行います。長野県の方法だと、一番現場をよく知っている先生方の願い等、所属している校長先生の意見を十分反映させることができます。他県から羨ましがられるところもあります。県教育委員会と協力しながら進めていくという了解事項であります。 34 頁からもう少し具体的なことが「覚書」として記してあります。 （1）の「校長」と（3）の「教頭」については、県教育委員会の方が主導で市町村教育委員会と十分連絡をとって実施します。 （4）の「教員」については、「ア 教員の人事については、校長に立案させることが望ましい。」ということです。現場の校長先生方がどういう先生に来てほしいなどを全部話し合った上で案を作ります。このような信頼関係に基づいて、県教育委員会と市町村教育委員会と、校長会等で協議をします。それをこの覚書の中で謳っています。 以上の「了解事項」、「覚書」を取り交わして業務を遂行していくことになっております。 2 の連絡の方法についてですが、長野県教育委員会は常時市町村教

	<p>育委員会と連絡を取り、担当主幹指導主事は、学校訪問等により努めて市町村教育委員会と連絡を密にし、担当した指導主事は郡市の連絡協議会、あるいは教育長の会合等には努めて出席して連絡を図ることになっております。小学校の学校訪問で来ていただいた主幹指導主事は県の職員の立場にありますから、各学校を訪問していただいて、そこに市町村教育委員会も入って、共に連絡を取り合って、学校運営について協議します。こんな連絡調整の中身を取り交わして、県と市町村教育委員会の信頼関係を築き、そして校長先生との連絡を密にしていくということになります。</p> <p>質疑等ないようですので、＜議案第 16 号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整＞について承認してもよろしいでしょうか。</p>
委員全員	(承認)
茂木教育長	<p>以上で議事の方は以上になります。</p> <p>何かご質問等ある方はいらっしゃいますか。</p>
中山委員	<p>5月13日の講演会を聞いて少し感じたことがありました。東日本の震災を受けられた方の講演会だったのですが、そこで気になったのが、災害は場を選んでくれないということです。</p> <p>卒業式の前日だったようで、学校にいて火災や地震が発生した時は放送が入るのですが、この時は停電によって校内の放送が使えなかったということでした。それを聞いて感じたことが、どんな災害もそうですが、災害時にメールを発信しても、大きい災害であればあるほど、メールが届かないことが多いような気がしました。以前何かあったとき、ある携帯会社は繋がったが、それ以外のところは翌日に届いたということがありました。今は改善されているとは思いますが、何か災害があって連絡を取らなくてはいけないという時になると、繋がらないことは想定できるのではないかと感じました。</p> <p>小学校も中学校もそうですが、今まで通りのやり方ではなく、下校時はどうするのか、学校を離れたときはどうするのか、家族会議などで、帰る間に何かあったらどう行動するのかを学校だけでなく、ご家庭でも話をしておく、連絡を取れなかった時の対応はしっかり出来たのであろうと思います。</p> <p>講演会を聞いた後に私も学校の校長先生、教頭先生ともお話をしたのですが、翌日同じことを先生方もお話していたようでした。その時に、校長先生が前勤務校の時に、クマが出たのでメールを発信したが、結局ご家庭に繋がらず、夜7時ぐらいまでかかったことがあ</p>

	<p>ったとお話していました。そのため、メールが届かなくても災害があった時には学校にいるとか、そのような親の判断というのも大きいだろうと感じます。</p> <p>他の先生とお話した時に、災害時の学校での備蓄のことも話が出ていたそうです。幸い北小に限っては、すぐそこに役場もあるので、何かあった時にはすぐ、役場から備蓄品や毛布、水分が届いたりすると思います。町の災害対策の担当者の方がいると思いますが、学校との連絡もしっかりしておいた方が良いのではないかと感じました。</p> <p>そこでおっしゃっていたのが、違う意見、違う価値観があるとそれは対立になる。対立になるけれど、お互いに話し合っ、お互いすり合わせて、ハーモニーになることが一番いいのではないかということをおっしゃっていて、その通りだと思いました。</p> <p>実際小学校に入ると、現場がこうして欲しいという意見が多く、しかし教育委員会の方も色々な事案があっ、予算立てをしており、現場は要望をどんどん出すが、そう簡単に全てやることができないというのを感じます。しかし、お互いそれを諦めて言えない状況というのは良いことではないと思うので、ある程度現場の意見をしっかりと伝えて、その中で精査しながら進めていくのが良いのではないかと感じました。</p> <p>学校に行っているんなことを聞くと、納得することもあります。ICT教育というのはどんどん変化しています。学校を建て替えるにあたり、何年後に建て替えるか目安をたて、基金に積み立てていくという考えと同じで、学校教育に関する予算というものも、年単位で作ると思うのですが、ICT の関係は最近の話なので、予算を取るのも大変であったり、色々なソフトがあつたりと、選ぶのも大変だと思います。御代田町は幸いにも1人1台ずつ端末を入れてくださっているんで、とても良い環境だと私は思います。しかし、良い環境になればなるほど、もっと良いことに取り組みたいと、先生方も考えていらっしゃると思います。それが子供たちのためになるのであれば、そのあたりの融通が利く予算であれば良いと感じます。</p> <p>予算なので、色々なことがありますが、お互いが意見を出し合い、子供たちのために良い方向に持っていくために、この講演会にあったハーモニーのようになっていけばいいと感じました。</p>
茂木教育長	<p>二つの中身があつたと思いますが、一つは災害を想定して、非常に現実的な動き・訓練について、もう一つは現場からの色々な要望と</p>

	<p>現実はどう実現していくかということの狭間で毎回感じることであります。</p> <p>最初におっしゃった災害のことについては、連合 PTA の講演会が中学校であり、東日本大震災の時、女川の中学校にちょうど勤めていて、ご自分のお子さんが、小学校にいらっしゃったという経験をお持ちの佐藤先生の本当に感動的な話でした。</p> <p>実際に放送は全然使えなくなる。学校の避難訓練などは放送を通して、今どこで火事が起きているので、避難してくださいというのをやっています。それも大事ですが、いかに現実を想定してやっていくか。あとは保護者を巻込んでの判断をどのようにしていくのが良いかということです。</p> <p>砥石先生は3月まで実際に学校運営されていて、集団訓練で学校現場の工夫みたいなことは、何かされていませんか。</p>
砥石指導主事	<p>想定は火災、地震等たくさんあります。</p> <p>その中で、各学校によってだとは思いますが、通常の授業時間、休み時間、それから子供たちが遊んでいて、事前に知らせない休み時間の避難訓練とそれぞれ区切ってやっており、年に少なくとも3回実施してると思います。</p> <p>学校によってはその他に、引き渡し訓練といって、災害があった場合にどうやって親御さんに引き渡すかということも想定して行っていますので、それを含めると4回ぐらいは、佐久地域の学校は行っていると思います。南小も北小もそのような形で実施し、引き渡し訓練もあるということはお聞きしています。</p>
茂木教育長	<p>全く放送機具が使えない中での訓練を行う必要は本当に感じますが、実際にやるかとなるとこれからの課題だと思います。ハンドマイクでどこまで届くかなどやってないと思います。</p> <p>今お話の通り、4月に新一年生を迎えて、また、それぞれ進級した時点で、学級の場所が変わった時に行う訓練、通常9月当初に震災に合わせた避難訓練を行い、11月に火を使う、あるいは、スチームを入れたりするところに合わせて最低3回は季節に合わせて行います。授業時間の時や休み時間、全く予告なしでやってどうすればいいかなど、それぞれの学校の工夫があると思います。それと引き渡し訓練は私達が避難訓練をやった時にはありませんでした。相当な工夫をしていますが、それでも当然万全ではありません。そのような工夫を重ねていくことは、学校にもお願いしています。実はすごい労力で、やるだけでも学校はすごい大変です。係の方が大変な苦勞</p>

	<p>をして、なんでこんな大変なことをやるのかというご意見が保護者の方の中にもあるのは十分承知で行います。しかし、今の時代の災害を考えると、命に係わることでありますので、やはりやらざるを得ないです。保護者の方もそういったことを理解してくださるから当然協力してくださると思うのですが、想定していくと、色々な場面があります。これからも各学校に工夫を重ねてほしいと思います。</p> <p>私も聞いて心に残った言葉は、やはりハーモニーしてないといけない、違う立場があつていいが、ある程度一つの方向をしっかりと目指せる。そうなっていくと思う気持ちもあつたのではないかと思います。</p> <p>講師の佐藤先生は、大川小の悪口は一言も言いません。自分も教員なのでよくわかっていて、過ちを繰り返さないようにするには、先ほどおっしゃっていただいたように、放送機器が使えなくなった時にどうするかというようなことを訓練の中で行うことが必要だと思います。</p> <p>二つ目も大事なことであります。もっとうなっていればいいと思うけれども、教育委員会は全然そこまで見てないと感じることがたくさんあると思います。最後は具体的なことになります。なるべく現場と実際に行政を進める側が、少しでも溝を埋めてうまくやっていくために、それこそ現場の方を大事にし、私達も現場に足を運んで、現場の情報をしっかり見てやるということは、必要だと思います。</p> <p>ICTの話もありましたが、その通りだと思います。なにか係長感じることありますか。</p>
萩原学校教育係長	<p>今 ICT 教育を推進していくという時代なので、学習用ソフトなどの営業は数多くあります。実演してくれる場を設けて頂いて、私も何度か見させて頂きましたが、本当に色々なソフトがあつて、生徒たちにはわかりやすいだろうというソフトもあります。5 年間は現在の形で進めていきますので、またその時までには色々な先生方の意見や、業者さんのお話も聞きながら、本当に生徒に役立つような学習用ソフトというものを、次の更新で入れていければと考えています。</p>
中山委員	<p>ソフトというのは、入れると 5 年間使えるソフトなのですか。</p>
萩原学校教育係長	<p>現状、5 年の利用契約となっております。</p>
茂木教育長	<p>去年入ったばかりの機械なので、どの程度もつかわからないですが、更新の時期になった時に国や県はどうするのか。現場は私達ですが、一番はどこからお金が出るのかというのは、考えると難しい。</p>

	<p>1 市町村だけではできないと思いますので、国や県に制度を整えてほしいということは私達もお願いしていきたいと思います。</p> <p>義務教育でも大変なので高校はもっと大変ではないですか。</p>
山口職務代理	<p>同じように5年分もたせるのが大変です。どんどん新しいものが出るが、なかなかお金が出ないです。そのあたりが一番苦しいところです。ハードもソフトも同じです。</p>
茂木教育長	<p>実は多くの高校はまだ1人1台行き渡ってないです。私立はわかりませんが、そういったことの整備がいち早くできていることを売りにして、生徒を集めるところもあります。しかし、そうでない学校もあります。文科省の統計が出てるのですが、県立の高等学校の生徒に1人1台のパソコンが入ってる県は、実はそんなに多くないです。長野県では補助を出したり、お家の方に少しお金を出してもらって今年度から1人1台の導入が始まります。</p> <p>このことが必要になっていく時代で、実際に1人1台を使う状況にして、しかもよく使う、上手に使っていくには時間がかかります。高等学校の避難訓練はどうですか。</p>
山口職務代理	<p>高校は、年2回ぐらいです。地震と火災だけやっています。先ほども出てましたが、県の方から工夫して実施するよう指示があります。日にちを決めない、時間を決めない、出火する場所を特定しないなど、いろいろやります。</p> <p>もう一つ大事にしてるのは、家庭等の中で、もしこういうことがあったら、どこに集まるとか、どこでどういう連絡を取るといことは常に話をさせるようにしています。学校の場合もそうですが、いざというときはこうしてくださいといことは、全校の生徒には言うのですが、実際に起こったらそんなに簡単にはいかないと思います。実際、東日本大震災の時に娘がちょうど岩手にいましたが、本当に一切連絡が取れず、1週間2週間くらいかかりました。本当に連絡取れない状態が絶対出ます。その辺は本当に日常から確認しておく必要があると思います。</p>
茂木教育長	<p>教えていただいてありがとうございます。高校になれば通う範囲が広がるので、生徒がきちんと確実に家に帰ったかどうか確認が難しい。小中学校なんかは行政区が決まっているのでなんとか確認を取れます。</p> <p>ご指摘を大事にしていきたいと思ひますし、また校長会の方にも伝えていきたいと思ひます。</p> <p>他にありますか。</p>

市川美香委員	図書館ボランティアのフレンズ総会が6月18日になったという連絡をいただいたのですが、6月18日に延期したということでしょうか。
茂木次長補佐兼図書館係長兼博物館係長兼博物館長	そのとおりです。
市川美香委員	フレンズの視察研修が、6月30日の館内整理日を予定していると思いますが、予定はまだ決まってないのでしょうか。
茂木次長補佐兼図書館係長兼博物館係長兼博物館長	6月は偶数月なのでほんわかひろばを予定しています。時期を改めて考えてますので、通知にそのような内容も踏まえたご説明文を入れてお送りしたいと思っております。また改めて視察研修の場所や日程を決めていきたいと思っております。
市川美香委員	<p>通学路点検があったということですが、先日、教育長とお話したのですが、南小近くのテニスコートやグラウンドがある交差点から南小に行く歩道の舗装がすごく綺麗になっていて、それが道路の点検の次の日にすぐ取りかかったみたいで、木の根でぼこぼこになった歩道がちゃんと平らになっていてすごく感動しました。</p> <p>今朝、雨がたくさん降っていたのですが、私が角のところ立っていて記念病院の方に上がっていくところなのですが、そこが川になってしまいます。小学生と中学生がすれ違う時に、中学生が車道の方に出て避けてくれたりもします。長靴を履いてる人は歩道をバシャバシャ歩いていけばいいのですが、大体は縁石の上を歩いていたり、車道に出て歩いたりしており、シチズンに通う車とかも通るので、車が避けてくれるが本当に危険だと思います。</p> <p>他に40km/hの道路標識のところは窪んでいて、少しの雨でも水溜りになってしまい、中学生とかは飛び越えたりするが、小学生はなかなか自分から車道に出たりもせず、困ってる姿が見られるので、そこも早く何とかしてもらえたらありがたいと思います。何度お願いしても、あそこはなんともしてくれないので、水溜りにならないようにするだけでも何か違うのかなと思いますし、脇道の方から歩道に水が流れてこないようにすることができないのかなと思います。川になってしまうと通れなくて、中学生も小学生も大人も困ってると思いますので、ぜひ対応していただきたいと思っております。</p>
茂木教育長	<p>直接私も建設水道課に3年前ぐらいにお話する事があり、見てもらったのですが、着手できていない。</p> <p>今回すぐ直してくれたところは建設水道課が一緒に行って松の根っ</p>

	<p>こが出てるので、根っこをとる前に、平らにしておこうということで、次の日やってくれたと聞いています。</p> <p>言葉として届けることが必要だと思います。他にもたくさんあると思いますが、そういった機会を大事にしていきたい。</p>
萩原学校教育係長	6月行事予定・後援について説明。
茂木教育長	<p>次回定例教育委員会は、6月29日（水）午後1時30分からエコールみよた大会議室で行います。</p> <p>また、7月定例教育委員会は、7月26日（火）午後1時30分からエコールみよた大会議室で行います。</p> <p>一つ連絡であります。7月15日に予定されておりました、県教育委員会との懇談会です。例年東信教育事務所の講堂の方に集まっていたいて、教育委員の皆さんもご参加いただいておりますが、去年はコロナの影響でリモート開催となりました。</p> <p>昨日連絡がきまして、今年度もオンライン開催となりました。出席範囲も、教育長と職務代理ということで連絡が来ております。せっかくの県の説明ですので、もし説明を聞きたいという委員さんがいましたら、来ていただければ一緒に聞くことは可能ですので、ご承知おきください。基本私と山口職務代理で出席いたします。</p> <p>以上で5月の定例教育委員会を終了します。</p>

(終了 午後2時50分)